

令和7年度印旛健康福祉センター運営協議会 事前質問一覧

1 藤代 健吾 委員

総合的な自殺対策推進事業の（１）住民向け講演会・相談対象者向け研修会、（２）その他の会議等について、令和元年度までは、管内の専門職等を対象に行われていたが、令和2年度からコロナ禍により各研修会が中止もしくは縮小されていた。令和5年度は、5類に移行したことから、既存事業を通してメンタルヘルス対策を実施したとあるが、令和6年度も同様に既存事業での活動であったのか。また、令和6年度に講演会や研修会をやらなかった理由はあるのか、今後の予定があるのか。（P 5 6）

2 雨宮 真吾 委員

今年度、当県において、「指定難病医療費助成業務」及び「小児慢性特定疾病医療費助成業務」を集約して行う「千葉県難病助成事務センター」が新たに設置されたことにより、印旛保健所の当該業務は、同センターで処理することとなったが、それによる業務負荷への影響はどうか。（事業年報記載ページなし）

3 伊藤 ちかこ 委員

協議会委員会の開催状況の中で、令和6年8月2日に、病床配分の方向性について協議された旨記載がありますが、病床配分についてどのような方向性を示されたのでしょうか。病床配分については、地域人口との兼ね合いをどのように勘案したのか教えてください。たとえば、白井市に関して言うと、人口と比較して病床数が少ないように思われますが、病床数の割り当てが多い他の地域で、病床が余っているなどということはないのでしょうか。（P 2 4、2 5、4 1）

4 川口 絵未 委員

○結核管理・接触者健康診断

・第4火曜日がなくなった理由（P 1 4）

○国民生活基礎調査

・対象地区が、5市1町から3市になった理由（P 4 1）

○地域保健従事者研修・保健所実習

- ・昨年まで実施していなかったが、欄があった(1) 地域保健従事者に対する研修、
(3) 地域保健臨床研修について、削除した理由、最後に実施されたのはいつか、
実施しなくてよいのか、代替の研修はあるか (P 4 2)

○災害時医療救護に関する研修会等の実施

- ・リモート会議と、システム操作などの確認とあるが、昨年実施した「発災時における初動体制の確認、備蓄医薬品受け渡し方法の確認」は、合同救護本部を発災初期から保健所に置くため、不要となったという理解でよいか。また、実際に体を動かしての訓練はしているか、しているとすればその内容。

5 保坂 康平 委員

○表2－(2)－ア 動物の飼養に関する指導・助言状況

- ・減少の原因 (P 1 4 7)
- ・多頭飼育に関する指導・助言はどの程度か (P 1 4 7)

○表2－(2)－イ 動物による苦情届出状況

- ・多頭飼育に関する苦情はどの程度か (P 1 4 7)

6 瀬脇 徹夫 委員

ペットショップ等で犬を販売するにあたり、マイクロチップ挿入が義務付けられているが、お店が環境省に登録するときに「犬の名」の欄にマイクロチップ番号が記入され、そのまま販売されることがある。

そして、購入後も飼い主による変更がされないと、市町保管の原簿には、犬の名の欄にマイクロチップ番号が記載されることになってしまう。

これにより、狂犬病予防注射時の個体識別にも支障をきたしている。(市町からのハガキに犬の名が記されていない)

お店への立入検査の際に、その点のチェック・指導はされているのか。

していないのであれば、販売時に購入者に対して、所有者変更だけでなく犬の名の欄も変更させるようにお店をご指導お願いします。(P 1 4 8)